

事業番号0026												
平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）												
事業名		臨床効果データベース整備事業			担当部局庁		医政局		作成責任者			
事業開始年度		平成25年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室		総務課		課長：中村 博治			
会計区分		一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－			関係する計画、通知等		－					
主要政策・施策		－			主要経費		社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国主導で長期的、かつ大規模の治療方法や治療効果に関するデータを収集・分析することで、効果的な治療法の普及や新たな治療方法の開発につながり、医療の質の向上に貢献する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)		日本では、治療成績等の議論の前提とすべきデータが不足しているため、関係学会等が取り組む医療の質の向上の検討等に資する、患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築に対し財政支援を行う。補助率：定額										
実施方法		補助										
予算額・執行額 (単位：百万円)				25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		予算 の 状 況	当初予算	－	－	－	136	136				
			補正予算	215	215	－	－					
			前年度から繰越し	－	215	215	－					
			翌年度へ繰越し	▲ 215	▲ 215	－	－					
			予備費等	－	－	－	－					
		計	0	215	215	136	136					
		執行額		0	199	149						
		執行率（％）		－	93%	69%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 28 年度
		データ搭載される症例件数を増やす。		症例件数		成果実績	件数	－	93,617	101,194	－	－
						目標値	件数	－	90,000	90,000	－	90,000
						達成度	％	－	104	112	－	－
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
		データベースシステムの構築数			活動実績	件	－	3	3	－		
					当初見込み	件	－	3	3	2		
単位当たりコスト		算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
		単位あたりコスト＝X／Y X:「補助金交付額」 Y:「データベース構築数」			単位当たりコスト	百万円	－	66	50	68		
					計算式	X/Y	－	199百万円／3件	149百万円／3件	136百万円/2件		
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	医療施設運営費等補助金		136	136								
	計		136	136								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
		施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標Ⅰ－1－1)									
		測定指標	定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度
							実績値	－	－	－	－	－
				目標値	－	－	－	－	－	－		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	治療の効果や有効性を評価するための診療データを収集することで、治療法の国際比較や、効果的な治療法の普及や新たな治療法の開発につながり、医療の質の向上・治療の標準化・国民の健康長寿の延伸に貢献することができる。											
	アクション・プログラム	改革項目	分野：	－	－							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
			成果実績	－	－		－	－	－	－		
			目標値	－	－		－	－	－	－		
			達成度	%	－	－	－	－	－	－		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
						成果実績	－	－	－	－	－	－
				目標値		－	－	－	－	－	－	
			達成度	%	－	－	－	－	－	－		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用するための情報基盤の整備への支援は日本再興戦略にも掲げられ、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用するための情報基盤の整備への支援は日本再興戦略にも掲げられ、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療の質を向上させるため、治療内容や治療効果等を登録し、分析・活用するための情報基盤の整備への支援は日本再興戦略にも掲げられ、医療の質の向上という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		－	－
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		－	－
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業開始年度からほぼ一定しており妥当と考えている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－	－
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	当該事業に必要なもののみ計上している。
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	事業実施者のなかには、データベース構築に要する期間が足りず、規模を縮小して、実施をしたところもあり、事業実施者へのデータベース構築期間を確保するため、事業者選定を少しでも早めに実施することで、構築期間を確保を目指す。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	外部有識者により、事業計画書の改善を指示し、事業の効率化に取り組んでいる。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	目標値とほぼ同じ実績値になっており、妥当と考えている。
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	外部有識者により、事業計画書の改善を指示し、事業の効率化に取り組んでいる。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みと同額の実績であり、見込みに見合ったものと考えている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	学会等でデータが集積されることにより、今後診療横断的な費用対効果等を踏まえた各診療方法の選択につながる。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		－	－
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	事業者の日々の診療行為を収集する側面から、関係学会や各医療機関との調整、匿名のデータの収集であるが、データの提供元である患者への十分な説明が必要となること、また、どのような指標を収集するかを検討など、データベース構築する前に、必要な準備に時間を要し、当初予定していた事業規模を縮小した事業実施者がいたことから、事業実施者(公募による)の選定を、できるだけ早く行うことで、データベース構築に要する時間を確保する必要がある。		
	改善の方向性	事業実施者(公募による)の選定作業をできるだけ迅速に行うようにする。		

外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
事業内容の一部改善	執行率が低いことから、点検結果にあるように、事業実施者のデータベース構築期間を確保するため、事業者選定を早めに選定し、構築期間を確保すること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	事業者のデータベース構築に要する時間を確保するため、事業者選定スケジュールについて、早期選定していけるように検討してまいりたい。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	033	平成27年度	27		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
149百万円



【補助】

A. 学会等【3機関】
149百万円

（患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築）



【随意契約（その他）】

B. 株式会社ケーアイエス等（2）
56百万円

（患者毎の治療内容や治療効果等を登録するデータベースの構築にかかるプログラム開発）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.一般社団法人 日本腎臓学会			B.株式会社ケーアイエス		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	プログラム開発にかかる委託料	64.8	人件費	給与費等	44
	備品購入費	サーバ購入費等	4.7			
	人件費	給与費等	1.5			
	計		71	計		44

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人 日本 腎臓学会	8010005006133	患者毎の治療内容や治療 効果等を登録するデータ ベースの構築	71	-	-	-	-
2	一般社団法人 日本 救急医学会	5010005006466	患者毎の治療内容や治療 効果等を登録するデータ ベースの構築	53.6	-	-	-	-
3	公益社団法人 日本 麻酔科学会	1140005005384	患者毎の治療内容や治療 効果等を登録するデータ ベースの構築	24.6	-	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ケーアイエ ス	3010001119240	大学病院向け調査・支援・ 運用	44	随意契約 (その他)	-	100%	-
2	一般社団法人日本 データサイエンス研 究所	5010405012353	サーバー構築運営	12	随意契約 (その他)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-